

# 令和5（2023年度） 事業報告書

（2023年4月1日～2024年3月31日）

認定特定非営利活動法人 自然再生センター

## 1 事業実施の方針

2023年度は、自然再生協議会の支援事業、中海・宍道湖及びその流域の自然再生及び環境保全に関わる事業、汽水域の自然再生及び環境保全に関わる事業、自然再生に関わるアドバイザー事業及び人材育成事業、自然再生及び環境保全に関わる広報及び情報交流事業、その他、この法人の目的を達するために必要な事業などを行った。

## 2 事業実施に関する事項

### （1）特定非営利活動に係る事業

#### 【主に委託・補助金・助成金による事業】

※ 事業名の番号は定款に記載している番号です

事業名 (定款記載)	事業内容	責任者	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象の 範囲及び人数	収支決算書の 事業費の金額 (千円)
③汽水域の自然再生及び環境保全に関わる事業	中海浸漬窪地の環境修復事業に係る 環境調査業務（2023年度） 【中国電力株式会社】	桑原(智)	6~2月	中海	5人	不特定多数	9,892
④自然再生に関わるアドバイザー事業及び人材育成事業	④自然再生に関わるアドバイザー事業 及び人材育成事業(2023年度) 【(一社)島根県教職員互助会】	事務局	10~2月	事務局	8人	未就学児童 ~高校生	200
小計							10,092

#### 【主に寄付・会費などで行う事業】

②中海自然再生協議会の支援事業	中海自然再生協議会の運営	國井	通年	中海周辺	6人	中海周辺 住民	709
①中海・宍道湖及びその流域の自然再生及び環境保全に関わる事業	オゴノリング事業	事務局	通年	中海周辺	17人	不特定多数	1,127
②中海・宍道湖及びその流域の自然再生及び環境保全に関わる事業	天神川水草刈り	田中	7月	天神川	4人	宍道湖周辺 住民	0
④自然再生に関わるアドバイザー事業及び人材育成事業	出前授業・講師派遣	事務局	通年	事務所 中海	8	小・中・高 生	396
⑥自然再生及び環境保全に関わる広報及び情報交流事業	・HP,Facebook,ブログでの情報発信	事務局	通年	中海・宍道 湖周辺、主 たる事務所	3人	不特定多数	226

小計 2,458

合計 12,550

## 事業実施体制

### (1) 会議に関する事項

#### ①通常総会

開催日 令和 5 (2023) 年 5 月 21 日 (日) 13:30～

開催場所 認定特定非営利活動法人自然再生センター (松江市天神町 127・3 階)、ハイブリッド会議システム (Zoom) 活用

出席者 51 名 表決委任者 32 名 (正会員総数 62 名※開催当時)

報告事項 議長選任及び議事録署名人選任の件、定足数の確認、2022 年度事業報告、2022 年度会計報告、2022 年度監査報告、2023 年度事業計画報告、2023 年度予算計画報告

#### ②理事会

- ・ 第 1 回 令和 6 (2024) 年 4 月 25 日 (月) 19:00～20:00 認定特定非営利活動法人自然再生センター (松江市天神町 127・3 階) ハイブリッド会議システム (Zoom) 活用

審議事項: 2022 年度決算資料、2022 年度決算報告、2022 年度事業報告、2023 年度予算計画、2023 年度事業計画、総会議事次第

協議事項: 要望書の検討、パート昇給の件、交通費 (ガソリン代の件)

---

- ・ 第 2 回 令和 5 (2023) 年 12 月 22 日 (金) 18:00～19:30 認定特定非営利活動法人自然再生センター (松江市天神町 127・3 階) ハイブリッド会議システム (Zoom) 活用

審議事項: 協議事項の審議

協議事項: 役員講師料規約改定について (講師料・理事会の交通費支払いについて)

---

- ・ 第 3 回 令和 6 (2024) 年 3 月 1 日 18:00～19:00 認定特定非営利活動法人自然再生センター (松江市天神町 127・3 階) ハイブリッド会議システム (Zoom) 活用

協議事項: パート職員労働条件通知書兼雇用契約書内容について  
来年度新役員について

---

### (2) 会員 (令和 6 (2024) 年 4 月現在)

①正会員 55 名

②賛助会員 (団体・法人) 20 団体

③賛助会員 (個人) 35 名

④中海浚渫窪地環境修復研究会 9 団体

### (3) 寄付数

・ 799,432 円 (延べ 83 口)

2023 年度は、浚渫窪地埋戻し事業の公共化に向けて、行政機関 (国交省・環境省・鳥取県・島根県) に認定 NPO 法人自然再生センターと中海漁協の名前で、要望書を提出いたしました。

こちらは報道機関にも大きく取り上げていただき、活動を認めいただく良い機会になりました。同時に、賛助団体も新規に 6 団体が加わり、当法人の活動に対して求められている更なる期待を感じました。